

ケアマネ通信

第17号

2009.
Oct 

◎第17号 平成21年10月1日発行

◎編集/発行 **NPO 法人 神奈川県介護支援専門員協会** 広報・出版委員会 委員長 前田 程一

〒231-0005 横浜市中区本町2-10 横浜大栄ビル5階

TEL: 045-671-0284 FAX: 045-671-0287 E-mail: jimucare@care-manager.or.jp http://www.care-manager.or.jp/

新理事長決定

—阿部 充宏 氏が就任—

去る5月30日、第13回通常総会が行われ、任期満了に伴う理事改選の結果、第3代理事長として、阿部 充宏 氏が就任されました。

就任にあたり、会員の皆様へのご挨拶と今後の展望をお伝えいたします。

(総会のご報告は、2,3面をご覧ください。)

■就任のご挨拶

日頃より皆様には協会活動にご参加・ご協力いただきまして心より感謝申し上げます。

本年5月30日の通常総会におきまして役員改選が承認され、その後の理事会におきまして理事長を拝命することとなりました。

思い返せば、介護保険制度の発足や介護支援専門員の誕生の中で、介護支援専門員の団体が必要ではないかとの機運が高まり、任意団体である「かながわ介護支援専門員協会(通称:ケアマネくらぶ)」が平成12年に発足しました。その後、日本で初の法人格を持つ団体として「特定非営利活動法人神奈川県介護支援専門員協会」へと進化を遂げてまいりました。その歴史は来年で10周年を迎えます。「走りながら考える」と言われた介護保険制度であり、いまだに走り続けているように感じる今日この頃ですが、走る道を誤らないためにも、また「市民生活を護ること・支えること」を土台とした制度にしていくためにも、我々、介護支援専門員の果たす役割は益々重要なものとなってきています。

私自身は、「ケアマネくらぶ」や法人の発足から今日までの約10年間を、多くの諸先輩方に支えられて過ごしてまいりました。発足の準備会か

ら係わり、協会の基本理念を決定すべく、箱根で泊まりがけの議論もありました。発足後は理事、



副理事長として協会活動に参加してまいりました。そのような中で、初代理事長である齊藤学さんや2代目理事長である高砂裕子さんという、偉大な理事長の後任が務まるのかという

不安もございしますが、諸先輩方の指導や会員の皆様からのご支援をいただきながら、職務を全うしていきたいと気持ちを新たにしております。

■展望～ケアマネみんなの笑顔のために～

介護支援専門員の社会的地位を高めたいという思いやケアマネジメンの質をさらに高めていきたいという思いは尽きることがありません。また、一方で、まず介護支援専門員が「笑顔」でいられるということをお願いしていきたいと思っています。

協会活動を通じて多くの笑顔に出会いたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

—目次—

■新理事長挨拶	・・・	1
■第13回通常総会報告	・・・	2
■日本ケアマネジメント学会 第8回研究大会報告	・・・	4
■あなたの街のケアネットワーク	・・・	6
■あんな資格!こんな資格?	・・・	7
■研修会情報	・・・	9
■お知らせ	・・・	10

第13回通常総会及び記念講演の報告

【第13回通常総会】

平成21年5月30日（土）福祉保健研修センター ウイリング横浜で行われました。

既に結果をご報告させていただいておりますが、概要は以下となります。

－議事－

第1号議案 平成20年度事業報告及び収支決算

第2号議案 平成21年度事業計画及び収支予算

第3号議案 任期満了に伴う役員の改選

出席者38名、委任状272通、合計310名

（※ 議事につきましては、賛成多数により決定、承認されました。）

－報告事項－

1) 平成21年度主任介護支援専門員研修への対応

（※ 平成21年度主任介護支援専門員研修の実施について、神奈川県より企画協力依頼を受けている旨の報告がなされました。また、研修実施団体が公募された場合には、応募する予定であることが合わせて報告されました。）

□■平成21年度事業計画より事業方針■□

本年度の事業計画は、以下事業方針を重点事項に各種事業展開をいたします。会員の皆様からのご期待に応えるために、理事長をはじめとして、一丸となり事業を実施してまいります。

- ① 職能団体としての組織発展を目指します。
- ② 介護報酬改正等の変化を受けて、その実態や影響について積極的に県民や国（厚生労働省）、県、市町村（保険者）等への報告及び提言等を行います。
- ③ 利用者本位のケアマネジメントが実現でき、利用者が安心して生活ができるように高齢者等の権利擁護についての理解と支援に貢献します。



【記念講演会】

『ケアマネジャーの未来を考える～社会保障審議会介護給付費分科会の委員として～』と題して、沖藤 典子 氏（ジャーナリスト）、木村 隆次 氏（一般社団法人日本介護支援専門員協会 会長）のお二人を講師に招き、テーマについてのご発言の後、阿部新理事長を交えての鼎談が行われました。会場からの質問も交え、これからの介護保険を考える上で、“ケアマネジャーのあり方”などが討議されました。

－沖藤 氏：講演資料より－

ケアマネジャーの未来を考える

はじめに：介護支援専門員の職業的権威を高めることの大切さ

1. ケアマネジャーという仕事は楽しくないのですか

・ ・聞く話は悩みと苦労話ばかり。疲弊しているケアマネ

- ① 低収入・・・一律単価になぜならない
- ② 所属問題は今でも定まらず・・・それぞれのメリット・デメリットを国民に
- ③ 書類の多さと煩雑さ・・・アセスメントを見るたびに驚く
- ④ 保険者のチェックの厳しさ・・・保険者はケアマネを信用していないのか
- ⑤ 複雑な加算主義・・・利用者への説明の難しさ などなど

<達成感や喜びもなく大変な仕事をやっているストレスフルな人々？職業的幸福感を利用者や国民にどう伝えてくれますか>

2. なぜ「適切なケアプラン」といわれるのですか

- ① 6割の人が力量不足（2007年、三菱総合研究所）と答えるのはなぜですか
*基礎資格を持ち、試験に合格した人が、なぜ力量不足と思うのでしょうか。5倍の試験を突破した人たちなのに？そういう人のプランは、基本的に“適切”であるべきではないでしょうか。
- ② ケアプランは、「公正・中立」が基本と

いわれますが、それを判断している人は誰でしょうか。利用者の満足度はどう関係していますか。利用者無視の「適切なケアプラン」というのはあり得ますか。ケアマネの顔はどっちを見ている？

3. 国家資格化には、どんな期待が持てるでしょうか

- ① 主治医との連繋がうまくいくようになりますか・・・連繋の土台である対等性
- ② 地域の福祉資源との総合的なケアプランは可能になりますか・・・報酬と責任
- ③ 保険者との関係の対等性は確立しますか

最後に：職業像の確立

利用者の暮らしと命を守るケアマネは、人生最後の親友

～沖藤氏講演要旨～

ケアマネジャーは、一般の人から見えない存在（利用者になればわかる）だという。どうすれば、もっと一般の人に見えるような存在になれるかが必要との事です。

沖藤氏より、「虫の目で利用者を見て、鳥の目で地域を見ることを忘れずに！」の一言をいただきました。



【沖藤氏講演の様子】

～木村氏講演要旨～

- ・ わが国の社会保障の行方
 - ・ 平成21年度4月介護保険報酬改定にあたっての提言
 - ・ 各サービスの報酬・基準見直しの基本方向
- 最後に、介護給付費分科会の今後の方向性として、
- ・ 介護報酬改定が処遇改善につながっているかどうかの検証・介護サービスの質の評価が

考えられる指標の検討

- ・ より効率的かつ効果的なサービスのあり方の検討・認知症高齢者等への介護サービスの研究・検討
 - ・ 現行サービスの種別の枠を超え、望ましい地域包括ケアシステムの構築という観点の検討
- すでに次期改正に向け、動き出しているとのことでした。



【木村氏講演の様子】

§ § 参加者との質疑応答から § §

鼎談の後、会場からの質問で、「特定事業所加算がケアマネジャーの処遇改善の措置としても一人ケアマネ事業所のように独立型居宅支援事業所の経営困難の改善にはならない」との指摘がありました。

木村氏からの回答は、「弁護士のように、何人かのケアマネジャーが共同して1つの事業所を作り、経費等は按分する。報酬に関しては、各自の出来高払いにするなどしたらどうか。この様に3人以上のケアマネが集まれば、特定事業者加算の対象になることも可能である。一人ケアマネでは、研修会にも出られないし、旅行にもいけないでしょう。」との提案がありました。



【鼎談の様子】



日本ケアマネジメント学会第8回研究大会

日本ケアマネジメント学会第8回研究大会が、「横浜から第2ステージへの船出」～ケアマネジメントの可能性を求めて～と銘打ち、6月18日（木）～20日（土）パシフィコ横浜 国立大ホールおよびアネックスホールにて開催されました。（※18日は老年五学会との合同開催）

来場者数は約960名に達し、活気溢れる会場内で、日本のケアマネジメントをリードする多彩な面々の講演、研究発表がされました。

――19日の催事――

1) 記念講演会

大会長である、橋本 泰子 先生が「わが国におけるケアマネジメント導入の歴史とこれから」と題して講演されました。

介護保険制度の歴史と今後に向けての課題を示されました。

2) 基調講演会

小澤 竹俊 先生（在宅療養診療所めぐみ在宅クリニック院長）が、「地域が支えるいのちとくらし」と題して講演されました。

終末期ケアについての講演で、末期癌患者への支援をしていく上で、どのような視点を持ち、命の大切さを考えてゆくことが良いのか、経験を踏まえた考えを示されました。

3) 市民公開講座

ユニバーサル財団の後援により、市民公開講座が行われました。

長谷川 和夫 先生（認知症介護研究・研修東京センター長）が、「認知症になっても大丈夫なまちづくり」と題して講演されました。

長谷川先生より、豊富な資料を基にしたお話が展開され、認知症予防についての具体的な対策も明らかにされました。

次に、公開シンポジウムとして、「認知症の人と家族の安定した生活のために」（座長：竹内孝仁氏）と題して、医師、家族、ボランティア、地域包括支援センター職員が、それぞれの立場から認知症の方への支援実例が発表されました。

――20日の催事――

アネックスホールにて一般口演発表、展示会場でのポスター発表が行われました。



【ポスター発表の様子】

66題の一般口演発表、40題のポスター発表、5題の六学会合同ポスター発表と、合計111演題の発表が行われ、会場は活気に満ちておりました。演題をカテゴリー別に紹介します。

- 介護予防ケアマネジメント／地域包括支援センター
- スーパービジョン
- 支援困難事例（独居・高齢者世帯、重度医療、虐待など）のケアマネジメント
- 支援困難事例の多職種連携
- 認知症のケアマネジメント
- その他（研修・ターミナル・小規模多機能型施設・ホームレスと介護・災害・虐待など）

多岐に渡る内容で、全国より興味深い研究が発表されました。



§ § 発表内容の傾向 § §

私たちケアマネジャーが直面をしている問題への提起が多く、特に、認知症対応・支援困難事例の発表が目立ちました。また、発表の多くは、発表者自身が遭遇した困難事例が多く、7分間の発表時間では、語り尽くせない内容ばかりでした。

今年度の介護報酬改定により、特定事業者加算

Ⅱが新設され、主任ケアマネジャーが注目されており、それに相俟って、“スーパービジョン”をテーマにした研究発表が、数多く見られました。

口演発表およびポスター発表を視聴して、本会主催の研究大会とは、大きな違いを感じました。それは、統計・数字に頼るのではなく、“自分たちが直面をしている困難事例をどの様に克服したか”の事例発表にありました。困難事例で困っていたが、此処に気付いたから、此処をこのように変えたから、此処と連携を取ったから、困難事例が克服でき、利用者のQOLが上がったなど、悩み、苦しんだ結果の実体験報告だったからです。

今まさに、困難事例に直面している数多くのケアマネジャーから共感を呼び、参加者は事例から学び、発表者も発表する事で事例を振り返る事ができ、共に一歩前進している様に感じました。

多くの事例に遭遇する事がケアマネジャーを育てます。そこにはスーパーバイザーによるスーパービジョンが必要であったりすることもあるでしょう。



【口演発表の様子】

§ § 大会を通しての印象 § §

ケアマネジメントの更なる期待が感じられる素晴らしい大会でした。そして、全てのプログラムの内容がとても濃く、考えさせられるものがありました。参加された多くのケアマネジャーにとっては、自らの仕事を振り返り、“これからの仕事に活用できる”と強く感じたと思います。他方、大会を楽しんだだけでなく、大会運営を裏で支えた、多くのケアマネジャー達の努力にも敬意を表します。

最後に、今年度の『神奈川県介護支援専門員研究大会』は、各自の事例発表の場として、ともに学びあい、高めあいましょう。



【運営協力をされたケアマネジャーの皆さん】

第8回神奈川県介護支援専門員研究大会 開催予告

本年度の神奈川県介護支援専門員研究大会は、地域発信元年として、「かまくら地域介護支援機構 鎌倉ケアマネ連絡会」および「藤沢市居宅介護支援事業所連絡協議会」のご協力をいただき、初めて横浜を飛び出します。現在企画の真っ最中ですので、もう暫く、詳細内容についてはお待ち下さい。開催予定時期等、概要をお知らせいたしますので、皆様のご予定に繰り入れていただければ幸いです。

開催予定時期：平成22年2月～3月

会場予定：湘南地区で検討中

大会テーマ：

「階(きざはし)～地域から始まるホップ・ステップ・ジャンプ～」

主旨：

色々な意味合いで、地域からステップアップしていきましょう。一挙に目標に向かって進むのではなく、堅実に、階段を登るように進みましょう。

発表演題の募集：

平成21年10月中旬を予定しております。本会ホームページにてお知らせしますので、ご注意下さい。

研 修 会 情 報

【法定研修】

皆様もご存知の通り、介護保険法の一部改正（平成18年4月1日施行）に伴い、介護支援専門員の資格・研修制度が大きく変わっております。ご不明な点がある場合は、「神奈川県保健福祉部地域保健福祉課保健福祉人材班」までお問合せください。（電話：045(210)4755（直通））

～応募可能な研修団体～

9月16日現在で、応募可能（予定含む）な研修団体をお知らせいたします。詳細につきましては、神奈川県庁ホームページで随時更新されますので、お忘れなくご確認ください。

（<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/tiikihoken/keamane/koushin.html>）

専門研修Ⅰ・更新研修（実務者向け 33 時間）

（1）総合健康推進財団
 募集対象地域：県全域 / 定員：150名
 会場：横浜 / 開催期間：12月～1月
 募集状況：10月頃より開始
 問合せ先：企画室 介護支援専門員研修係
 電話 03-5777-2904

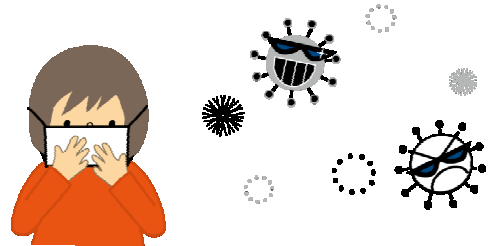
専門研修Ⅱ・更新研修（実務者向け 20 時間）

（1）総合健康推進財団
 募集対象地域：県全域 / 定員：150名
 会場：横浜 / 開催期間：1月～2月
 募集状況：10月頃より開始
 問合せ先：企画室 介護支援専門員研修係
 電話 03-5777-2904

（2）藤沢市居宅介護支援事業所連絡協議会
 募集対象地域：県全域 / 定員：150名
 会場：藤沢 / 開催期間：12月～2月
 募集状況：10月下旬開始
 問合せ先：事務局
 電話 0466-52-2511

更新研修（実務未経験 44 時間）

（1）総合健康推進財団
 募集対象地域：県全域 / 定員：200名
 会場：横浜 / 開催期間：12月～2月
 募集状況：10月頃より開始
 問合せ先：企画室 介護支援専門員研修係
 電話 03-5777-2904



介護支援専門員研修体系図(本会作成)



【本会主催研修】

本会主催研修につきましては、別添「研修一覧」および「各研修チラシ」をご確認ください。ご応募いただく場合は、同封のチラシでお申し込みをお願いします。

お知らせ

【新規事業について】

本年度も既に半期を消化しておりますが、新以下事業の実施が決定いたしました。

【神奈川県所管】

- ・主任介護支援専門員研修
- ・地域包括支援センター職員研修（現任者研修）

【厚生労働省老健局所管】

- ・平成 21 年度老人保健健康増進等事業
（「平成 21 年度介護保険における適切なケアマネジメントの推進に関する調査研究事業」）
- ※補助金事業／内示まで。現在交付申請中。

神奈川県の研修事業につきましては、公募への参加を要請され、介護支援専門員への十分な教育体制を評価されての受託となりました。厚労省補助金事業につきましては、今までの調査実績の評価とケアマネジメントの更なる向上に貢献する内容が評価されて内示をいただきました。

会員の皆様には、更なるご協力、ご支援をお願いすることになりますが、本会の更なる飛躍のためにもよろしく申し上げます。

【本会編集書籍】

平成 15 年の発刊以来、大変ご好評をいただいております「ケアマネジメント実践マニュアル」の改訂版が発刊されました。既にご購入いただいている皆様には感謝申し上げますとともに、是非、お知り合いの方々にもお薦めください。また、まだご覧になった事がない皆様には、同封の書籍チラシをご覧いただき、これを機会に是非ともご利用ください。

【新規入会キャンペーン】

本年 9 月 1 日より、「新規入会キャンペーン」を実施しております。目指すところとしては、現

場で苦慮している介護支援専門員が一致団結することで、次回予想される大規模な介護保険制度改正（平成 23 年度決定、24 年度施行）での地位向上を実現して、もっと利用者の為になるケアマネジメントを実施するためです。自分達の手で変えていくため、是非ともご協力をお願いします。（同封チラシをご確認ください。）

【介護の魅力を語るフォーラム】

昨年度、好評を得ました「介護の魅力を語るフォーラム」（神奈川県政策提案事業）を、本年度も開催いたします。

日時：平成 21 年 11 月 14 日（土）13:30～16:30
会場：相模原南市民ホール

催事の詳細は、同封チラシをご確認ください。皆様からのご応募をお待ちしております。

【他団体情報】

1) 神奈川県立保健福祉大学実践教育センター『平成 21 年度チームケア教育』が 11 月 21 日より開催されます。高齢福祉と障害福祉が連携した家族支援を考えます。詳細につきましては、本会ホームページ“外部団体研修情報”をご参照ください。

（<http://www.care-manager.or.jp/kensyu/20091121~jissen.pdf>）

【介護保険情報】

1) 「認定調査員テキスト 2009 改訂版」厚労省老健局「介護保険最新情報 vol.110」（8 月 17 日付）にて、認定調査員テキストの改定版が出されました。皆様の地元保険者にて説明会等開催されると思います。市町村窓口までお問合せください。

（編集後記）

通信を作成するにあたり、機関誌として“何を伝えるべきなのか？”“どうすれば楽しんでもらえるか？”を深く考えております。皆様からのご意見・要望をお待ちしております。

【お問合せ先】神奈川県介護支援専門員協会 事務局

電話：045-671-0284 FAX：045-671-0287

E-mail：jimu@care-manager.or.jp